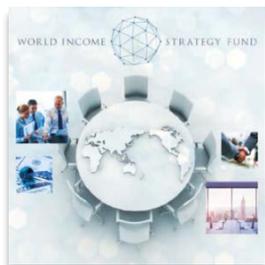


【ご参考資料】

2017年1月25日  
野村アセットマネジメント株式会社

## 「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」 のパフォーマンスと今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」が実質的に投資する外国投資信託「PIMCOバミューダ・インカム・ファンド(M)」(以下、PIMCOインカム戦略)のパフォーマンスと今後の見通しについてご説明申し上げます。

(次ページ以降に、外国投資信託受益証券の運用の指図に関する権限を委託しているピムコジャパンリミテッドによる提供情報を掲載いたします。)

2016年10-12月期パフォーマンス (2016年9月末～2016年12月末)

✓ トランプ新政権が掲げる大規模な財政刺激策への期待が高まる中、金利の急上昇を受けて幅広いセクターが軟調となるも、景気回復の恩恵を受ける米国非政府系モーゲージ証券やハイイールド社債等への投資や為替戦略がプラスとなり、2016年9月末～2016年12月末のPIMCOインカム戦略は1.2%上昇しました。

PIMCOインカム戦略※1のポジション (2016年9月末現在)

【平均デュレーション】

✓ 平均デュレーションは金利上昇に備え控えめの水準を維持。

2.6年

・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

【平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)※2(課税前)】

5.2%

※2 米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。ただし、総資産の10%以内の範囲で、米ドル建て以外の通貨エクスポージャーを、実質的に保有することができます。

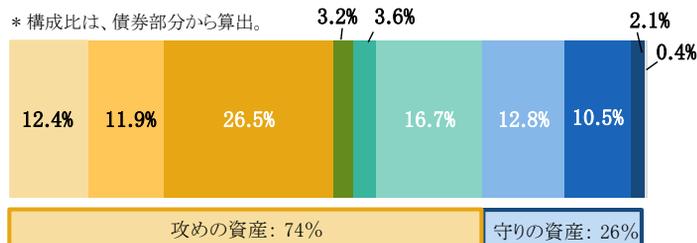
【組入銘柄数】

790銘柄

【資産別配分】

✓ セクター配分はグローバルに幅広く分散する一方、景気回復の恩恵を受け、金利上昇の影響を抑えるために攻めの資産を多めに。

\* 構成比は、債券部分から算出。



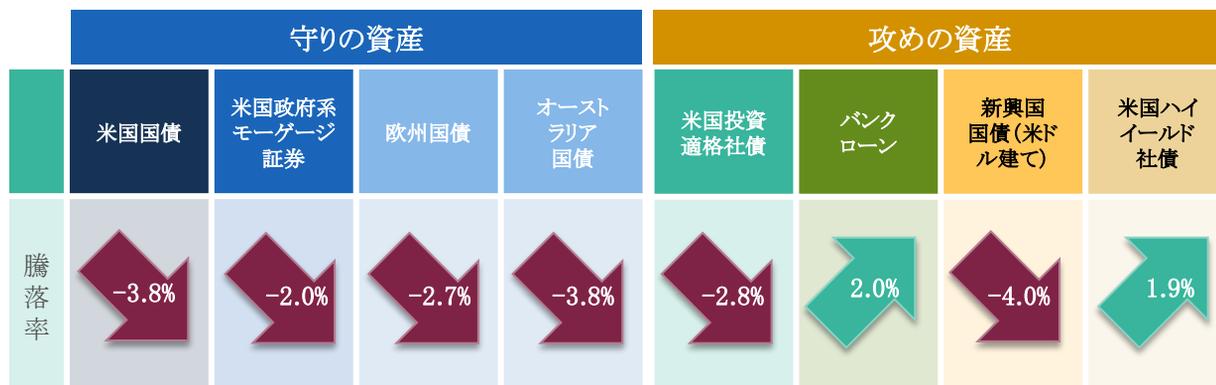
- ハイイールド社債
- 新興国債券(社債含む)
- 米国非政府系モーゲージ証券
- バンクローン
- 投資適格社債
- 証券化商品(除くモーゲージ証券)
- 先進国債券(除く米国)
- 米国政府系モーゲージ証券
- 米国政府関連債
- その他の債券等

※1 PIMCOバミューダ・インカム・ファンド(M)

上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(デュレーション、最終利回り)をその組入比率で加重平均したものです。(出所)PIMCO作成

<ご参考> 世界主要資産のパフォーマンス(米ドルベース) (2016年9月末～2016年12月末)

✓ 守りの資産は、米国を中心にグローバルに金利上昇が進行したことから軟調に。攻めの資産では、米国の景気回復の恩恵を受ける米国ハイイールド社債等を中心に価格上昇が見られた一方で、米ドル高の進行やトランプ氏の通商政策の運営に対する不透明感が重石となった新興国債(米ドル建て)は下落しました。



\* 欧州国債:ユーロベース、オーストラリア国債:豪ドルベース

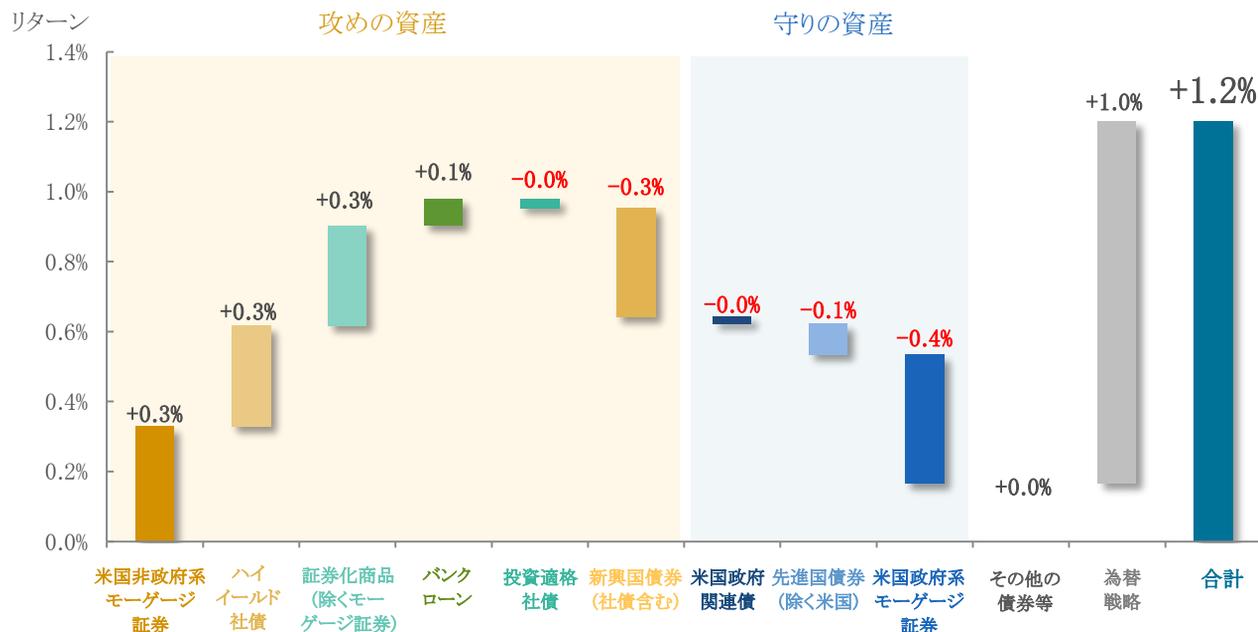
米国国債、米国政府系モーゲージ証券、米国投資適格社債:ブルームバーグ・パークレイズ米国総合インデックスの各サブインデックス、欧州国債:ブルームバーグ・パークレイズ・汎欧州総合・国債インデックス、オーストラリア国債:ブルームバーグ・オーストラリア債券(国債)インデックス、バンクローン:JPモルガン・リクイッド・ローン・インデックス、新興国債(米ドル建て):JPモルガンEMBIG Diversified、米国ハイイールド社債:BofA・メルリンチ・USハイイールド・インデックス(出所)PIMCO作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

PIMCOインカム戦略\*のパフォーマンス要因分析(米ドルベース、費用等控除前) (2016年9月末~2016年12月末)

✓ 2016年9月末~2016年12月末のリターンは+1.2%と、前四半期に続いてプラスリターンを維持。米国においてトランプ氏が掲げる財政刺激策への期待が高まる中、急激な金利上昇を受けて守りの資産への投資はマイナスとなるも、米国の景気回復の恩恵を受ける攻めの資産への投資がプラスに寄与。また、為替戦略では米金利の急上昇を受けた米ドル高からプラス寄与。



※ PIMCOバミューダ・インカム・ファンド(M)、費用等控除前  
上記の要因分解は、一定の仮定のもとにPIMCOが試算したものです。  
(出所)PIMCO作成

PIMCOインカム戦略\*1のポジション (2016年12月末現在)

【平均デュレーション】

✓ 平均デュレーションは米国の大幅な金利上昇を受けて若干調整。

3.5年

・デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

【平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)\*2(課税前)】

5.2%

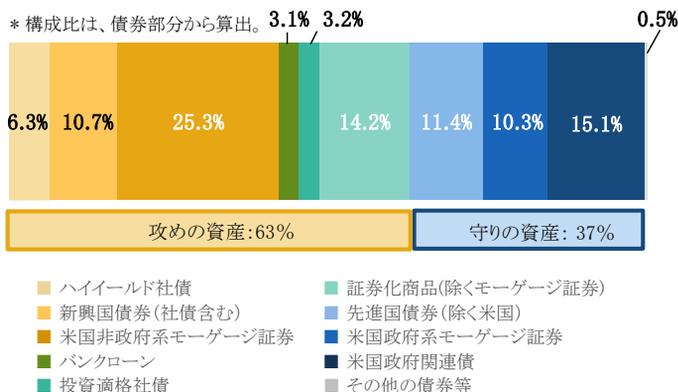
※2 米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。ただし、総資産の10%以内の範囲で、米ドル建て以外の通貨エクスポージャーを、実質的に保有することができます。

【組入銘柄数】

844銘柄

【資産別配分】

✓ グローバルに幅広く分散したポートフォリオを維持しつつ、足元で大幅な価格回復が見られたハイイールド社債は一部売却し利益確定。一方で割安感の高まった米国政府関連債の保有比率を引き上げ。



※1 PIMCOバミューダ・インカム・ファンド(M)

上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(デュレーション、最終利回り)をその組入比率で加重平均したものです。  
(出所)PIMCO作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

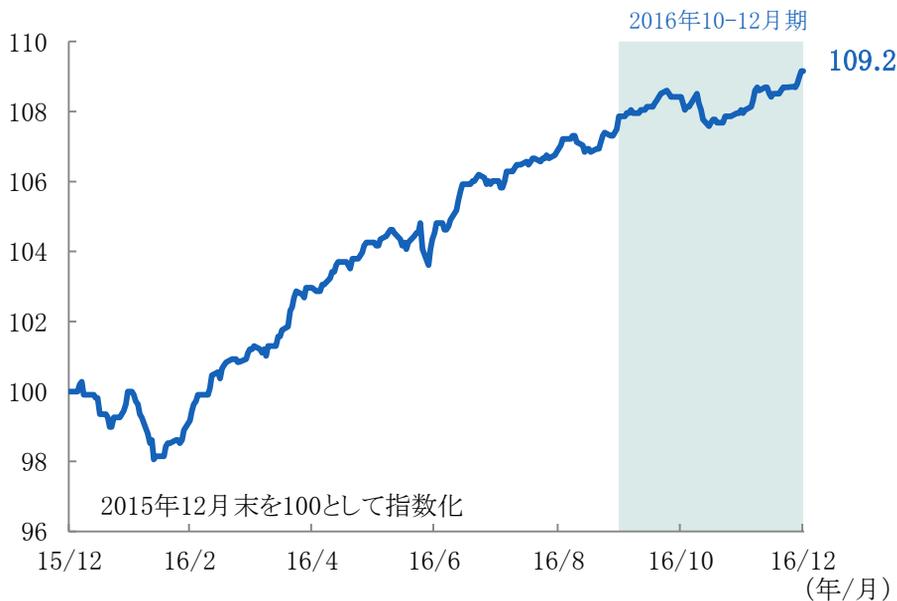
当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたりは、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

2016年の年間パフォーマンス

✓ 国債などで構成される守りの資産と景気回復の恩恵を受けられる攻めの資産に、バランス良く投資を行なうことで、2016年1-2月のリスクオフ(リスク回避)や11月の米大統領選を受けた金利上昇などの局面を乗り越え、PIMCOインカム戦略は安定したパフォーマンスを維持し、2016年は年間で9.2%上昇しました。

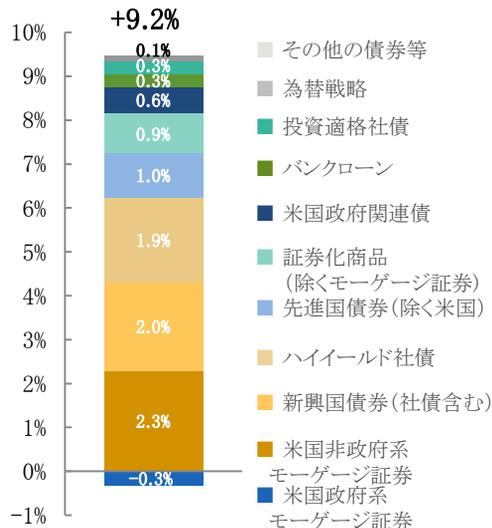
PIMCOインカム戦略\*のパフォーマンス(米ドルベース、費用等控除前)の推移

(2015年12月末～2016年12月末、日次)



【年次リターン率の要因分解】

(2015年12月末～2016年12月末)



※ PIMCOパブリック・インカム・ファンド(M)、費用等控除前  
上記の要因分解は、一定の仮定のもとにPIMCOが試算したものです。  
(出所)PIMCO作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

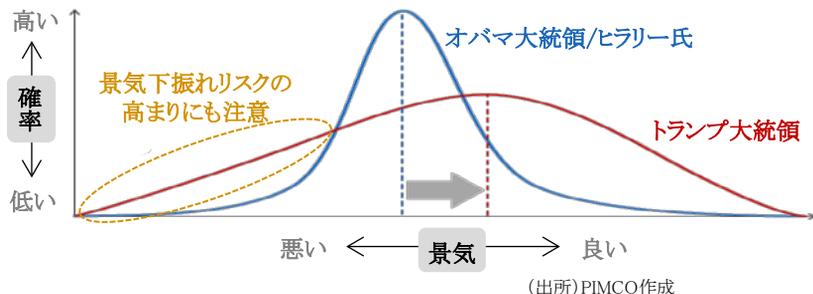
当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後の見通し

2017年は景気の上振れだけでなく、景気の下振れへの備えも重要なテーマに

- ✓ トランプ新政権の掲げる大規模な財政政策や規制緩和等を背景に、景気回復が加速するシナリオの確率が上がったものの、一方で景気後退に陥るような下振れリスクも高まったとみられる。
- ✓ 財政刺激策によってインフレが加速し、予想よりも速いペースでの利上げとなる局面では、急激な金融引き締めや米ドル高の進行を受けて、景気回復が頓挫するといった景気下振れシナリオも存在する。

【米大統領選に伴う景気見通しの変化(イメージ図)】



- 主な景気下振れ要因
- 金融政策から財政政策への移行
    - ✓ 財政政策の中身
    - ✓ 金利上昇/米ドル高の影響
  - 反グローバル化やポピュリズム(大衆迎合主義)の台頭
    - ✓ 保護主義やポピュリズムを背景とする地政学リスクの高まり

PIMCOインカム戦略における2017年運用のポイント

1. 金利上昇への備え

**金利リスク(デュレーション)を機動的にコントロール:** 金利低下局面(2015年1月、2016年6月など)では将来の金利上昇に備えて金利リスクを低めにし、金利上昇局面(2014年1月など)では将来の金利低下に備えて金利リスクを高め調整するなど、市場環境に合わせて金利リスクを機動的にコントロール。

**変動金利資産を活用:** 米国非政府系モーゲージ証券やバンクローン、証券化商品等の変動金利資産を保有。

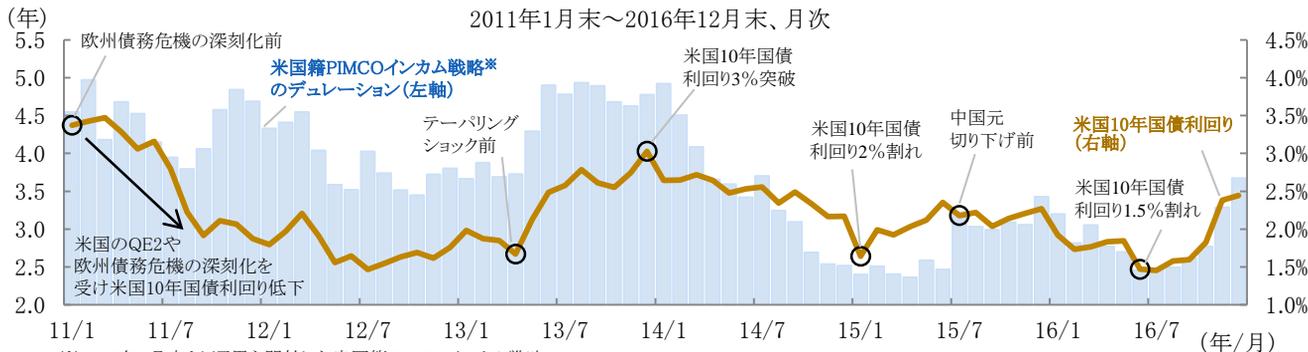
**景気回復の恩恵が期待される攻めの資産への投資:** 米国非政府系モーゲージ証券やハイイールド社債、バンクローン等を活用。

**急激な金利上昇に備えた為替戦略:** 米国金利の急騰時には米ドル高になるとの見方から、米ドルをやや多めに保有。

2. 市場の価格変動が高まる局面への備え

米国政府関連債等の守りの資産を活用し、ポートフォリオの全体の流動性を高めに調整するほか、景気下振れ局面といった割安な投資機会に備える待機資金としての役割も。

【ご参考:米国10年国債利回りの推移と米国籍PIMCOインカム戦略\*のデュレーション】



※ 2007年3月末より運用を開始した米国籍PIMCOインカム戦略  
 米国10年国債利回り:ブルームバーグ・ジェネリック  
 ・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。  
 ・QE2:量的金融緩和政策第2弾。  
 ・テーパリング:量的緩和策による金融資産の買入れ額を順次減らす出口戦略。  
 (出所)PIMCO作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

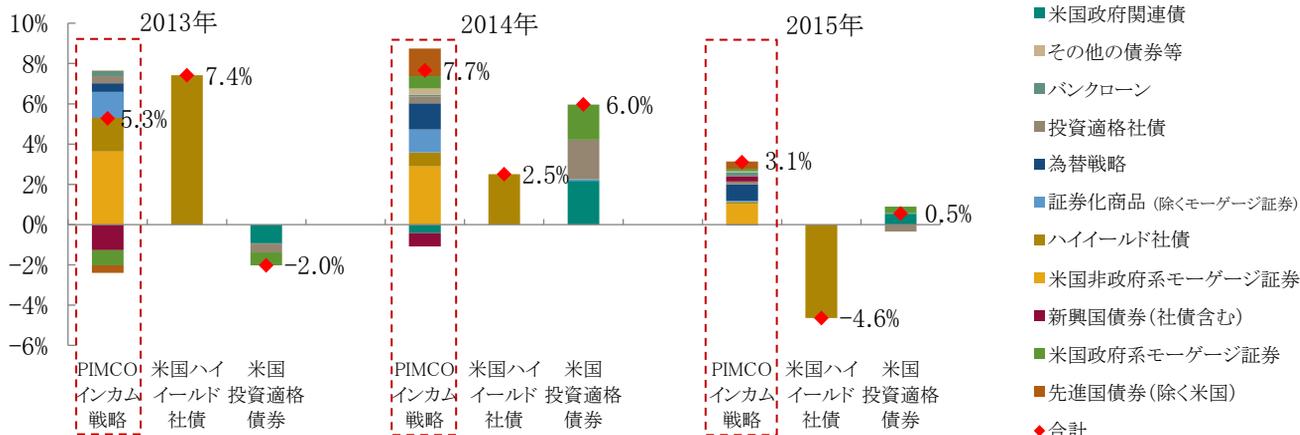
当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

【ご参考】2013年～2015年の年間パフォーマンス

✓ 市場のテーマが激しく移り変わる中、PIMCOインカム戦略は安定したパフォーマンスとなりました。

【PIMCOインカム戦略(費用等控除前)※と世界主要資産の年間パフォーマンス(米ドルベース)】

(2013年～2015年、年次)



※ PIMCOインカム戦略は07年3月より運用を開始した米国籍PIMCOインカム戦略(費用等控除前)  
 米国投資適格債券: バークレイズ米国総合インデックス、米国ハイイールド社債: BofA・メルリンチ・USハイイールド・インデックス  
 上記の要因分解は、一定の仮定のもとにPIMCOが試算したものです。  
 (出所)PIMCO作成

2013年

➤ 市場環境

「バーナンキ・ショック」を受けて米国長期金利が約1%急上昇し、米国投資適格債券が軟調となった一方、景気回復期待を背景に米国ハイイールド社債は上昇。

➤ PIMCOインカム戦略のパフォーマンス

金利リスクを抑えつつ、米国における景気回復の恩恵を受けるハイイールド社債や米国非政府系モーゲージ証券がパフォーマンスを押し上げ。

2014年

➤ 市場環境

予想外に米国長期金利が低下したことから、米国投資適格債券が堅調に推移。一方、年後半にかけて原油価格が反落したことを受けて、米国ハイイールド社債の上値が抑えられる展開。

➤ PIMCOインカム戦略のパフォーマンス

引き続き米国非政府系モーゲージ証券が上昇したほか、中国の経済成長の鈍化を受け、中国とのつながりが強いオーストラリアでは景気減速の可能性が高まったことを受け金利が低下し、オーストラリア国債への投資が奏功。

2015年

➤ 市場環境

米国長期金利は年を通じて水準が変わらず、米国投資適格債券は横ばい。一方、エネルギーセクターが軟調で米国ハイイールド社債が下落。

➤ PIMCOインカム戦略のパフォーマンス

特定のセクターに依存せず多様な債券セクターに分散し、魅力的なインカムの積み上げが奏功。

今後とも「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

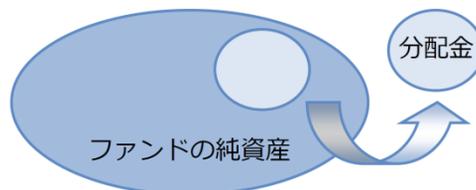
以上

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

## 分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



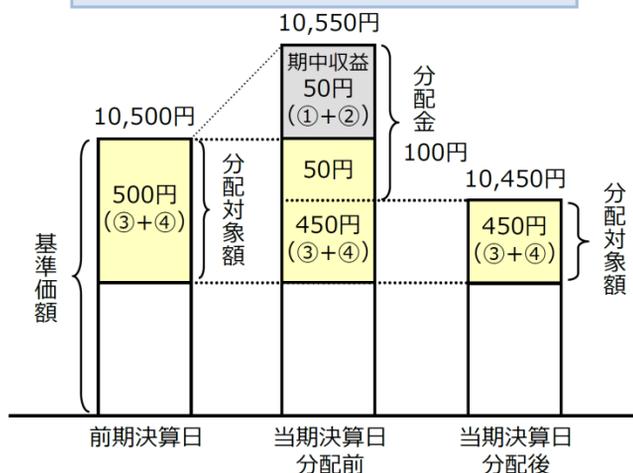
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

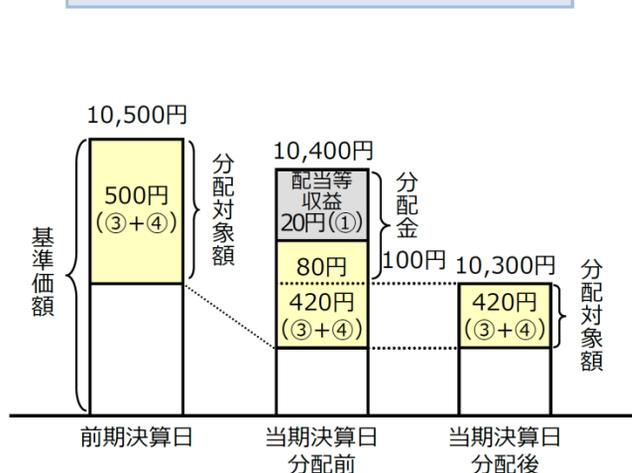
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

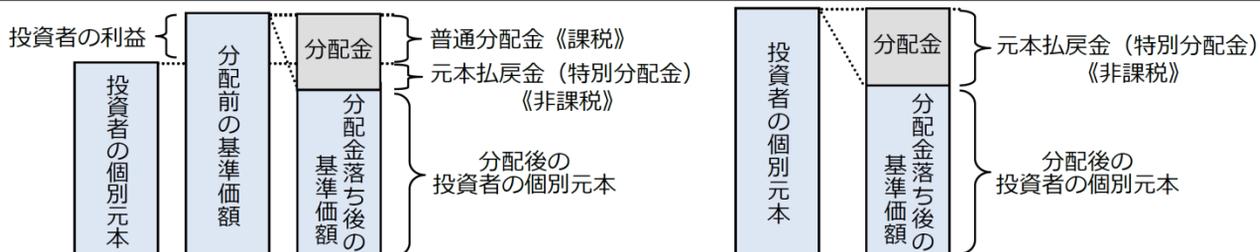


前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」は、分配頻度、投資する外国投資信託において為替ヘッジの有無の異なる、4本のファンドで構成され、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。

	為替ヘッジあり(部分ヘッジ(高位))※	為替ヘッジなし
年2回分配	Aコース	Bコース
毎月分配	Cコース	Dコース

※「Aコース」「Cコース」は、投資する「PIMCOバミューダ・インカム・ファンドAークラスN(JPY)」において、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引により、対円で為替ヘッジを行ないます。

- 世界各国(新興国を含みます。)の債券等(国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債権(バンクローン)等)および派生商品等を実質的な主要投資対象※とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- 各々以下の円建ての外国投資信託「PIMCOバミューダ・インカム・ファンドA」および国内投資信託「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド	投資対象
Aコース	(外国投資信託)PIMCOバミューダ・インカム・ファンドAークラスN(JPY)
Cコース	(国内投資信託)野村マネーポートフォリオ マザーファンド
Bコース	(外国投資信託)PIMCOバミューダ・インカム・ファンドAークラスN(USD)
Dコース	(国内投資信託)野村マネーポートフォリオ マザーファンド

- 通常の状態においては、「PIMCOバミューダ・インカム・ファンドA」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状態においては、「PIMCOバミューダ・インカム・ファンドA」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「PIMCOバミューダ・インカム・ファンドAークラスN(JPY)/クラスN(USD)」の運用の基本方針■

※PIMCO バミューダ・インカム・ファンドAをファンドとします。

・ファンドは、PIMCO バミューダ・インカム・ファンド(M)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含みます。)の債券等(国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債権(バンクローン)等)および派生商品等に実質的に投資を行ない、インカムゲインの最大化と長期的な値上がり益の獲得を目指します。

・通常、総資産の65%以上を世界各国(新興国を含みます。)の債券等(国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債権(バンクローン)等)および派生商品等に実質的に投資します。

・ポートフォリオの平均デュレーションは、原則として0~8年の範囲で調整します。

・米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。ただし、総資産の10%以内の範囲で、米ドル建て以外の通貨エクスポージャーを、実質的に保有することができます。

・クラスN(JPY)は、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。クラスN(USD)は、組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行なわず、米ドルへの投資効果を追求します。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。
- 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 分配の方針

◆Aコース、Bコース

原則、毎年4月および10月の16日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

◆Cコース、Dコース

原則、毎月16日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

\*委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券およびバンクローン等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券およびバンクローンの価格下落や、当該債券およびバンクローンの発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成38年4月16日まで(平成28年4月22日設定)
- 決算日および収益分配 「Aコース」「Bコース」  
年2回の決算時(原則、4月および10月の16日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
「Cコース」「Dコース」  
年12回の決算時(原則、毎月16日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」を構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2017年1月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.8144%(税抜年1.68%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

<当資料で使用した市場指数について>

- ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- JPモルガンEMBIG Diversified(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global Diversified)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、エマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。JPモルガン・リクッド・ローン・インデックスは、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- BoFA・メリルリンチ・USハイイールド・インデックス(BoFA Merrill Lynch US High Yield Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国ハイイールド債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★  
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★  
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

# 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース／Bコース／Cコース／Dコース

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録金融機関	登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第579号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
常陽証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。